

市民生活実感調査（インターネットモニター調査）の結果について

1 調査概要

(1) 調査対象

20歳以上の市民（民間企業の登録モニター）940人

※ 令和4年4月1日時点の「京都市住民基本台帳人口」における人口構成比（性別・年齢・行政区）に基づき調査

※ 回答数は1,000人を予定していたが、一部の区分で有効回答数が割付数に達しなかったため、最終的な回答数は940人

※ 以下に当てはまる場合、不正モニターとして排除

①すべての設問が無回答（9件）

②すべての設問で同一のアルファベットを選択（該当なし）

（参考）回答数及び「京都市住民基本台帳人口」の人口構成比に基づく割付数

	男性			女性		
	回答数 (A)	割付数 (B)	乖離 (A-B)	回答数 (A)	割付数 (B)	乖離 (A-B)
20歳代	57	66	▲ 9	65	66	▲ 1
30歳代	62	64	▲ 2	66	66	± 0
40歳代	80	80	± 0	86	86	± 0
50歳代	80	80	± 0	83	84	▲ 1
60歳代	62	62	± 0	68	70	▲ 2
70歳代以上	114	114	± 0	117	162	▲45
合 計	455	466	▲11	485	534	▲49

※ 割付数は、行政区ごとに、性別・年齢層別の人口構成比に基づき算出しているため、市全体の人口構成比と割付数との間では若干の乖離が生じている

(2) 調査内容（従来の郵送調査と同じ）

ア 生活実感

「京プラン2025」に掲げた「みんなでめざす2025年の姿」に対して、今の市民生活がどうなっているかをお尋ねするため、118の設問について市民の実感を、次の5段階で回答

a：そう思う b：ややそう思う c：どちらとも言えない
d：あまりそう思わない e：そう思わない

※ 設問数が多いため、2組（調査A・B）に分けて実施

イ 政策の重要度

27政策のそれぞれについて、市民が考える重要度を5段階で回答

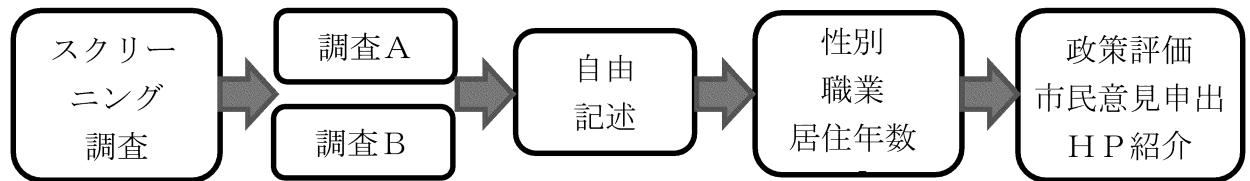
ウ 市政への関心度
市政への関心度合いを5段階で回答

エ 幸福実感
幸福の実感度合いを5段階で回答

(3) 調査期間

令和4年5月18日～5月25日（1週間）

(4) 調査方法



※ 画面イメージは別紙1参照

(5) 調査委託会社

株式会社サーベイリサーチセンター（詳細は別紙2参照）

【選定方法】参加希望型指名競争入札

【入札予定価格】70万円（税抜）

【落札額】50万円（税抜）

2 回答状況及び令和3年度との比較

(1) 回答割合（下表G列参照）

性別で見ると、男性は令和3年度を8.0%上回った一方、女性は同年より6.9%下回っている。
また、性別・年齢層別に見ると、男性は20～50歳代で、女性は20～30歳代で、令和3年度よりも回答割合が増加している。

(2) 人口構成比との乖離（下表H列参照）

性別で見ると、男性は令和3年度よりも4.4%、女性は同年よりも2.9%、それぞれ改善した。
また、性別・年齢層別に見ると、70歳代以上の女性を除いて、令和3年度よりも人口構成比との乖離は改善した。

（単位：％）

		令和4年度			令和3年度			比較	
列		A	B	C	D	E	F	G	H
		回答割合※1	割付数に基づく 人口構成比※2	乖離 (A列－B列)	回答割合※3	人口構成比※2	乖離 (D列－E列)	回答割合の 増減 (A列－D列)	乖離の 改善度※4 (C列－F列)
男性	20歳代	6.1	6.6	▲0.5	3.1	6.7	▲3.6	+3.0	+3.1
	30歳代	6.6	6.4	+0.2	2.9	6.4	▲3.5	+3.7	+3.3
	40歳代	8.4	8.0	+0.4	6.1	8.3	▲2.2	+2.3	+1.8
	50歳代	8.6	8.0	+0.6	7.1	7.9	▲0.8	+1.5	+0.2
	60歳代	6.6	6.2	+0.4	6.9	6.2	+0.7	▲0.3	+0.3
	70歳代以上	12.1	11.4	+0.7	14.2	11.0	+3.2	▲2.1	+2.5
	小計	48.4	46.6	+1.8	40.4	46.6	▲6.2	+8.0	+4.4
女性	20歳代	6.8	6.6	+0.2	5.3	6.8	▲1.5	+1.5	+1.3
	30歳代	7.0	6.6	+0.4	6.3	6.7	▲0.4	+0.7	±0.0
	40歳代	9.1	8.6	+0.5	10.4	8.7	+1.7	▲1.3	+1.2
	50歳代	8.7	8.4	+0.3	8.9	8.3	+0.6	▲0.2	+0.3
	60歳代	7.2	7.0	+0.2	9.5	6.8	+2.7	▲2.3	+2.5
	70歳代以上	12.4	16.2	▲3.8	17.8	16.0	+1.8	▲5.4	▲2.0
	小計	51.4	53.4	▲2.0	58.3	53.4	+4.9	▲6.9	+2.9
上記以外		0.2	—	+0.2	0.2	—	+0.2	±0.0	±0.0
無回答		0.0	—	±0.0	1.1	—	+1.1	▲1.1	+1.1

※1 四捨五入の関係で、小計欄と性別（年齢）の割合が一致しない箇所がある

※2 人口構成比は、令和4年度は4月1日時点、令和3年度は7月1日時点の住民基本台帳人口に基づき算出

※3 性別及び年齢で無回答があるため、小計欄と性別（年齢）の割合が一致しない箇所がある

※4 乖離が改善した場合は＋、乖離が悪化した場合は▲として示している

3 生活実感

a 評価（そう思う）が減少し 0 項目となったものの、d 評価（あまりそう思わない）も減少し、c 評価（どちらとも言えない）が増加した。

これは、「どちらとも言えない」と回答された方の割合が 44.0%となったことが影響している。

a そう思う	b ややそう思う	c どちらとも言えない	d あまり そう思わない	e そう思わない	計
0	27	86	5	0	118

（参考 1）令和 3 年度調査結果

a そう思う	b ややそう思う	c どちらとも言えない	d あまり そう思わない	e そう思わない	計
8	33	70	7	0	118

（参考 2）各選択肢の回答率

選択肢		R 4	R 3	増減 (R4-R3)
肯定的な回答	そう思う	5.7%	10.7%	▲5.0%
	ややそう思う	27.9%	29.7%	▲1.8%
どちらともいえない		44.0%	34.0%	+10.0%
否定的な回答	あまりそう思わない	16.3%	17.9%	▲1.6%
	そう思わない	6.2%	7.6%	▲1.4%

○ 生活実感評価の高い政策分野順位について

「文化」で 8 ランク、「市民生活とコミュニティ」及び「観光」でそれぞれ 5 ランク変動するなど、27 分野のうち 19 の分野で変動が生じている。

ア 3 ランク以上上昇した分野

分野	順位		
	R 4	R 3	変動
文化	13	21	+8
観光	6	11	+5
大学	3	7	+4
住宅	11	14	+3

イ 3 ランク以上低下した分野

分野	順位		
	R 4	R 3	変動
市民生活とコミュニティ	1 7	1 2	▲ 5
消防・救急	9	4	▲ 5
子ども・若者支援	2 1	1 7	▲ 4
建築物	1 2	9	▲ 3

(参考) 令和元年度調査における生活実感評価の高い政策分野順位の変動

令和元年度調査では、平成30年度調査から、27分野のうち10分野で順位の変動が生じている。

上昇したもの		低下したもの	
分野	変動	分野	変動
消防・防災	+ 3	景観	▲ 3
大学	+ 2	観光	▲ 2
子育て支援	+ 2	歩くまち	▲ 2
保健衛生・医療	+ 1	土地利用と都市機能配置	▲ 1
学校教育	+ 1	環境	▲ 1

※ 令和2年度は、新型コロナの影響により市民生活実感調査を実施していないため、また令和3年度は、新たな基本計画を策定したことにより、政策分野に変更が生じているため、それぞれ比較対象とはしていない。

4 政策の重要度

「重要」又は「やや重要」と回答された方の割合が高い政策について、順位に変動はあったものの、上位の顔ぶれは変わらなかった。

R 4		R 3	
順位	政策分野	順位	政策分野
1	くらしの水	1	消防・救急
2	市民生活の安全	2	くらしの水
3	保健衛生・医療	3	保健衛生・医療
4	消防・救急	4	危機管理・防災・減災
5	環境	5	市民生活の安全
	危機管理・防災・減災	6	環境

5 市政への関心度

「そう思う」または「ややそう思う」と回答された方の割合は、令和3年度から5.3%低下している。

また、令和3年度においても令和元年度から18.9%低下しており、近年は低下傾向にある。

選択肢	R 4	R 3	増減 (R4－R3)
そう思う (①)	17.3%	27.0%	▲9.7%
ややそう思う (②)	38.5%	34.1%	+4.4%
小計 (①+②)	55.8%	61.1%	▲5.3%
どちらとも言えない (③)	20.5%	23.1%	▲2.6%
あまりそう思わない (④)	16.5%	10.1%	+6.4%
そう思わない (⑤)	7.1%	4.1%	+3.0%
小計 (④+⑤)	23.6%	14.2%	+9.4%
無回答	0%	1.6%	▲1.6%

(参考) 過年度の回答状況

選択肢	R1	H30	H29	H28	H27
関心がある (①)	32.9%	29.1%	31.1%	32.9%	35.0%
少しは関心がある (②)	47.1%	47.6%	50.6%	48.5%	44.8%
小計 (①+②)	80.0%	76.7%	81.7%	81.4%	79.8%
あまり関心がない (③)	11.0%	13.1%	11.1%	11.5%	8.9%
まったく関心がない (④)	1.2%	1.7%	1.1%	1.3%	0.9%
小計 (③+④)	12.2%	14.8%	12.2%	12.8%	9.8%
わからない	3.9%	4.0%	4.3%	3.2%	2.6%
無回答	3.9%	4.5%	1.8%	2.6%	7.8%

6 幸福実感

「そう思う」または「ややそう思う」と回答された方の割合は、令和3年度から10.9%低下している。

また、令和3年度においても令和元年度から6.0%低下しているなど、近年は低下傾向にある。

	R 4	R 3	増減 (R4－R3)
そう思う (①)	18.0%	28.8%	▲10.8%
ややそう思う (②)	39.0%	39.1%	▲0.1%
小計 (①+②)	57.0%	67.9%	▲10.9%
どちらとも言えない	24.0%	18.0%	+6.0%
あまりそう思わない (③)	12.3%	8.3%	+4.0%
そう思わない (④)	6.5%	4.1%	+2.4%
小計 (③+④)	18.8%	12.4%	+6.4%
無回答	0.1%	1.7%	▲1.6%

(参考) 過年度の回答状況

	R1	H30	H29	H28	H27
とても幸せだと思う (①)	15.9%	16.9%	17.9%	16.2%	19.6%
どちらかという幸せだと思う (②)	58.0%	57.7%	58.5%	60.9%	54.4%
小計 (①+②)	73.9%	74.6%	76.4%	77.1%	74.0%
どちらとも言えない	15.1%	16.6%	16.1%	16.4%	14.9%
どちらかという幸せではないと思う (③)	5.4%	4.4%	5.1%	3.7%	4.8%
不幸せだと思う (④)	1.2%	0.9%	0.7%	0.9%	1.2%
小計 (③+④)	6.6%	5.3%	5.8%	4.6%	6.0%
無回答	4.4%	3.5%	1.7%	1.9%	5.2%

7 自由記述

回答数は650件、回答率は69.1%となり、令和3年度を大きく上回る結果となった

	R 4	R 3	増減 (R4－R3)
回答数	650	540	+110
回答率	69.1%	45.6%	+23.5%

(参考) 主な意見

自由記述意見	件数
京都市財政に関する意見	135 件
観光に関する意見	72 件
税に関する意見	69 件
市バス・地下鉄に関する意見	61 件
寺社に関する意見	31 件
道路に関する意見	28 件
子育てに関する意見	27 件
コロナに関する意見	22 件